

地域連携支援部

地域連携支援部は保健・医療・高齢者福祉事業の積極的な推進を目指し、院内外の関係機関との連携強化に努めています。「患者サポート室」「訪問看護ステーション柏崎」「柏崎総合医療センター居宅介護支援事業所」及び柏崎市からの委託による「柏崎市中地域包括支援センター」を加え4部門で構成され、各専門職が多機関・多職種との連携を図っています。また、令和4年4月より入院支援センターが「患者サポート室」の業務の一部となり、幅広く療養者への支援を担っています。

【主な業務】

1. 地域連携活動 : 関係機関との顔の見える関係作り、連携の構築・維持
2. 近隣開業医やケアマネ、施設職員との勉強会及び意見交換会の開催
3. 地域連携に関するデータ分析: 紹介・逆紹介、地域連携に関するデータの蓄積
4. 院内受入体制の整備: 患者受け入れに関する協力依頼・紹介、逆紹介の管理
5. 広報活動の充実 : 病診だよりの発行
6. 定期的な院内連携会議の実施: 地域連携支援部定例会議(年4回)
7. 地域に出て行く活動: J Aや行政を含めた地域連携の構築
8. その他、地域連携強化に関する業務

コロナ禍において令和3年度は書面またはオンライン開催となった介護・福祉施設との情報交換会でしたが、今年度は対面で開催しました。各施設の担当者の方々と顔を合わせての意見交換に改めて有意義さを感じ、課題への取り組みに力が入りました。超高齢社会を背景に、意思決定支援・医療同意・身寄りなし問題など大きな課題に対し、引き続き多機関多職種で連携を強化して取り組んでいきます。

メディコラ学習会では、新しい生活様式を取り入れ、ハイブリット方式で今年度は1回のみで開催でした。リピーターをはじめ、地域の多機関多職種の皆さまよりご参加いただき、好評でした。連携・情報発信を通して地域に貢献できる学習会として、継続して企画していきます。

広報誌「つながる+ (プラス)」には、より強固なつながり(連携)を築いていきたいという思いが込められています。院内のトピックスを掲載し、地域に発信していきます。院外の関係機関をはじめとする地域の皆さまに幅広くお目通しいただきたいと考えています。

地域の皆様の声に耳を傾け、地域の総合病院としての役割を發揮できるよう、更なる連携の構築・強化を目指していきます。



【メディコラ学習会】

・令和5年3月8日（水） 17:45～19:00

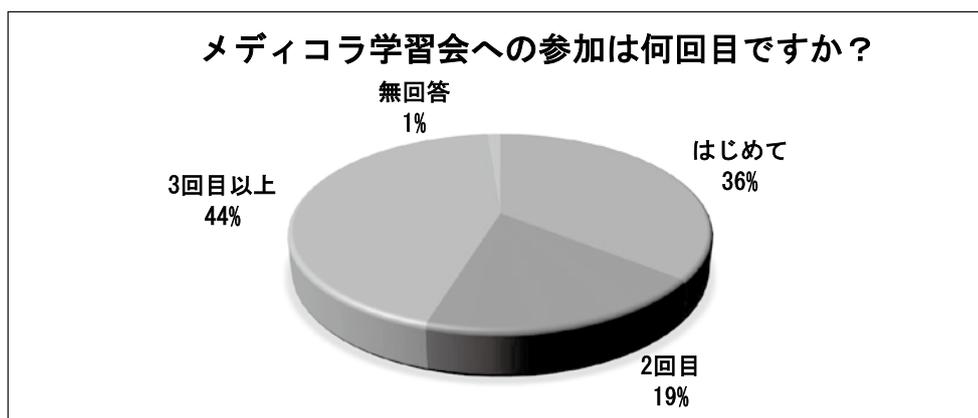
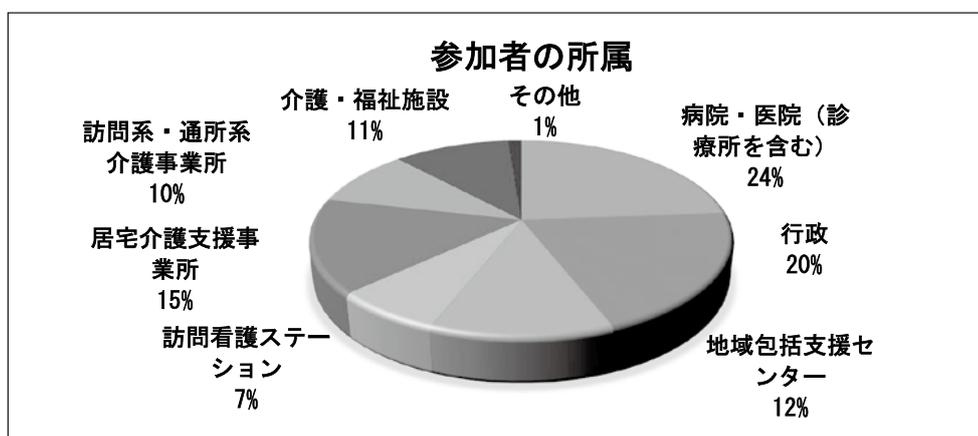
テーマ 「柏崎総合医療センターのリハビリテーション科を知ろう！」

講師 柏崎総合医療センターリハビリテーション科 猪爪一也技師長

参加アンケート回答数 84名（職員17名を含む） 37事業者

本日の流れ

1. リハビリテーション科の歴史
2. リハビリテーション科診療体制
3. リハビリテーション科の特徴
4. 各病棟の紹介とリハビリテーション科の対応
 - 4-1 整形外科・脳外科
 - 4-2 呼吸器・内分泌・循環器（心臓リハビリテーション）
 - 4-3 ADL維持向上体制実施病棟
 - 4-4 地域包括ケア病棟
 - 4-5 回復期リハビリテーション病棟
5. トピックス
 - 5-1 整形外科部門の研究に参加（FLS：最新リエンソーリス）
 - 5-2 授食・嚥下機能改善に向けた積極的取り組み
 - 5-3 コロナ病棟への介入
 - 5-4 柏崎市・刈野村の保険事業への協力

【介護・福祉施設との情報交換会】

- 令和4年12月 特別養護老人ホームとの情報交換会
- 令和5年2月7日 有料老人ホームとの情報交換会（看護部入退院支援委員会協同）
- 令和5年2月15日 救護施設との情報交換会
- 令和5年3月 養護老人ホームとの情報交換会（書面）